

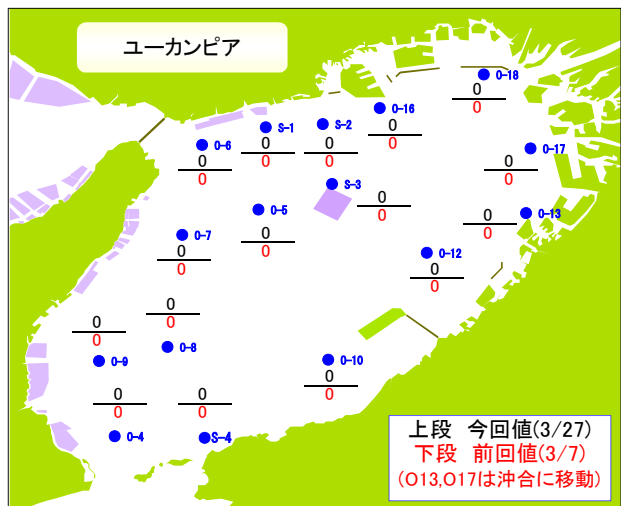
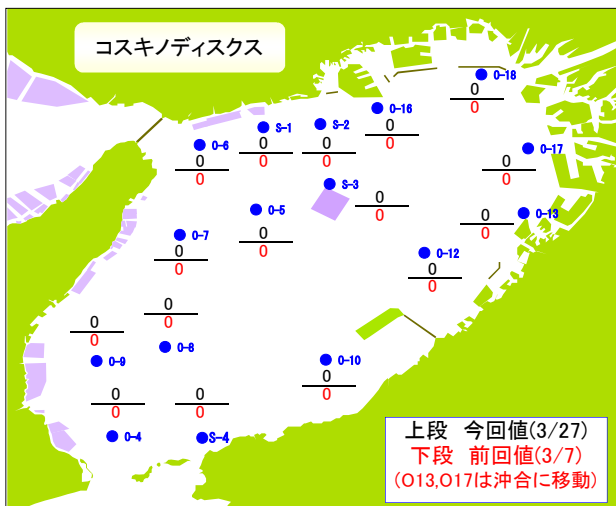
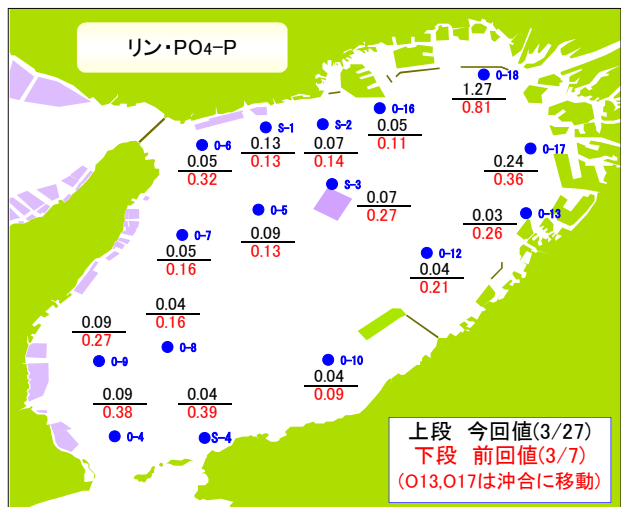
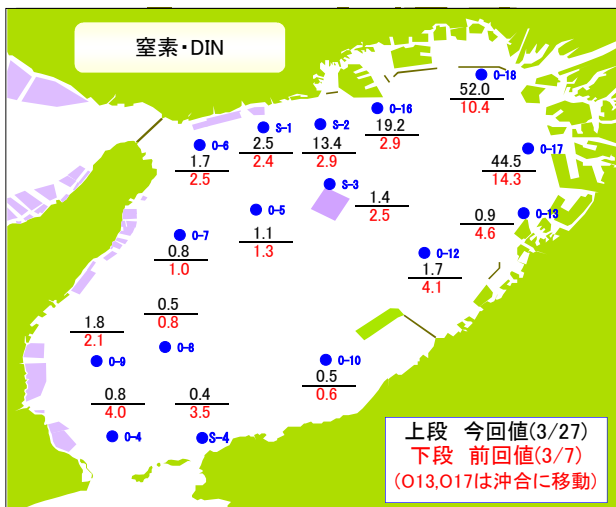
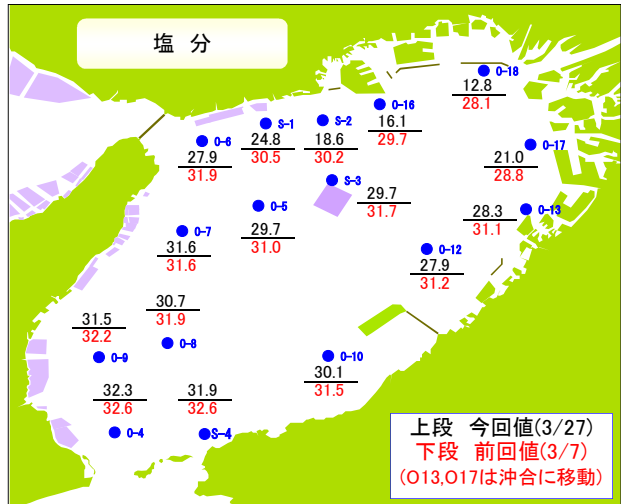
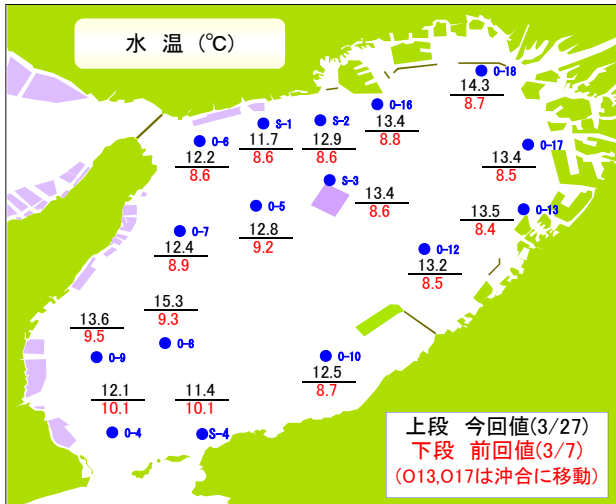
# ノリ養殖環境速報 KO-29-06号 (大阪湾)

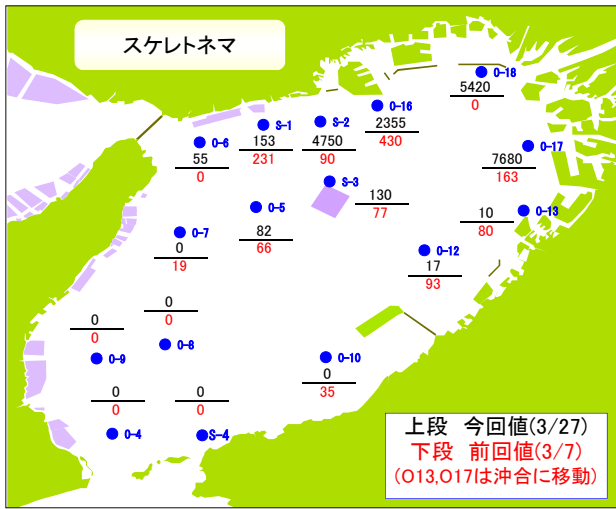
発行 平成30年 3月 28日  
 兵庫県水産技術センター(078-941-8601)  
 兵庫のり研究所(078-942-1531)

※平成29年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています

3月27日の調査結果をお知らせします。

水温は前回調査(3/7)以降上昇し、神戸市地先で11~13℃台、淡路島東部で12~15℃台と、ほぼ平年並みになっています。また、3月に入ってからのもたまった降雨により、湾奥部の塩分は非常に低くなっており、神戸市地先にもその影響がみられます。降雨によって湾奥部の栄養塩(DIN)は高い値となっていますが、それ以外の海域では全般に低い状況です。ユーカンピア、コスキノディスクスはみられませんが、湾奥でスケルトネマが多くみられるほか、湾全域で渦鞭毛藻が大量発生しています。今後の天候およびプランクトンの発生状況には引き続き注意が必要です。(今年度のノリ養殖環境情報(大阪湾)は今回で終了です。今後はのり研究所発行の漁場環境情報等をご覧ください。)





この情報は、水産技術センターホームページ(<http://www.hyogo-suigi.jp/>)の「珪藻赤潮情報(大阪湾)」でもご覧頂けます。